

競 技 規 定

1. (受付)選手は原則として、競技日には決められた時間までに受付をしなければならない。
<競技参加の意志表示のため>
2. (帰着申告) 競技に参加の意思表示をした選手はフライトの有無にかかわらず、安全確認のため定められた時間までに帰着申告を本人が行なわなければならない。ただし怪我等で動けない、速くにランディングしたために時間までに戻れないなどは、無線等で報告すること。その場合も最後には本人が大会本部へ連絡すること。[入院等は除く]
3. (気象条件) 平均風速 6 m/s 以下において競技を行う。(フォロー・サイドフォローを除く)
4. (安全確認) 安全確認は、選手本人または選手相互間においてラインチェック・クロスチェックを行い、選手本人が気象条件等の安全確認後フライトすること。
フライトは機体の運用限界内で安全にフライトする事。
5. (テイクオフ) テイクオフ前に必ずテイクオフ役員にその旨を連絡し、テイクオフディレクターの許可を得なければならない。
パラグライダーのライズアップ失敗時、速やかにリ・スタートが可能な場合は再テイクオフ出来るものとする、この場合原則として1回までとする。
リ・テイクオフは、テイクオフの意志表示をしている選手の最後尾につくこと。
フライト中、次の選手のテイクオフに支障をきたすフライトコースを飛んではならない。支障がある場合、テイクオフ役員が警告する。警告2回で失格
6. (得点) ゴールディスタンス競技の場合、距離得点とタイム得点(ゴール者のみ)の合計を得点とする。ゴールディスタンスのミニマムはゴールより2、5 Km 以内とする。
ターゲット競技の場合は(直径) 1m・5m・10mにそれぞれの得点を定め、2回のフライトの合計得点とする。2回以上のフライトの場合は高得点の2フライトの合計得点とし、同得点の場合は経験年数の少ない選手または取得技能証 B>NP>P にて決定する。危険なフライト・ランディングと判断された場合は、ターゲット得点から減点される。(50%~失格)
ゴールディスタンスとターゲットの区分は1回でもターゲットよりゴール側へ0、5 Km 以上の場所に着地をした選手はゴールディスタンスにエントリーした者と見なしターゲット得点は0点とする。
7. (時間の計測) 時間計測は、役員が計測する(テイクオフとゴールのみ)
8. (ゼッケン) ゼッケンは機体前縁の中央にアラビア数字にてガムテープで張ること。
エアインテーク側を上側とする事、中央に貼れない機体については貼れる箇所に貼る事。ゼッケンはなるべく大きく見やすく貼る事。
9. (その他) この規定に定めのない事項については、競技委員長が必要に応じて別に定める。

ゴールディスタンスの場合のタイム得点計算

その日のタイム得点は Tmin 者が満点で Tmax 者が0点その他の者は按分により算出する。

(Tmin : 当日フライトの最小フライト時間)

(Tmax : 当日フライトの最大フライト時間)

ゴール得点 800点 タイム得点 Tmin 者 200点

ゴール出来なかった場合は距離得点 100m ≒ 16点 (ゴールより 2.5Km 以内)

例

ターゲット 直径 1m 以内 : 500点 5m 以内 : 250点 10m 以内 : 100点